

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.24(2025. 1 月)

社会科同好会編⑮「日韓高校生平和交流会」 2日目

2025年1月7日(火)、前日に続き、社会科教員2名・生徒3名で、日韓高校生平和交流会(秩父ユネスコ協会・1923歴史館(韓国・天安市)主催)に参加しました。韓国天安の高校生たち10名・埼玉の高校生3名との交流です。絵本『花ばあば』(クオン・ユンドク作。「慰安婦」問題を描いている)や、『花ばあば』作者をめぐるドキュメンタリー作品『わたしの描きたいこと』(クオン・ヒョ監督。90分)を観たあとで、昼食をはさみ、午後のフィールドワークに出かけました。墨田区の八広駅に移動し、関東大震災で発生したヘイトクライム(朝鮮人虐殺)があった場所を歩き、横網町公園と復興記念館を見学しました。



以下、参加者の感想の一部を紹介します。

◆(2日目)秩父の高校生と韓国の高校生の絵本「花ばあば」の読み聞かせと「花ばあば」を出版するまでのドキュメンタリー映像を鑑賞した。「花ばあば」を平和のための絵本にするため、情報については絵本とは考えられないほど細かく記載されていて、知ること、伝えることが平和へとつながると実感した。午後は両国国技館の近くにある記念公園で、東京大空襲や関東大震災の被害を受けた朝鮮人の方についてのお話を聞いた。慰

霊碑1つの文章をとっても、政府の考えやまだ正確に解明されていない問題があることを知った。フィールドワークの道中では、朝鮮人の虐殺などの資料を読み合いその残酷さに憤りを感じた。2日間だけのつながりだったけれどみんなと仲良くなれて本当に良かった。

◆(2日目)午前中の慰安婦の話では実際に起きてしまったことをちゃんと伝えていくということがすごく大切だと思った。「花ばあば」はとても悲しいお話だけど知らないといけないことだと思った。日本軍も悪いところがあったけど、(日本軍に限らず)戦争が起きると慰安婦みたいなことが起きてしまうって聞いた。戦争での被害って実際に攻撃を受けた人やその家族とかかかって思っていたけど、全く関係のない女性がそうやって被害を受けたと聞いて戦争がいけないと再認識しました。午後は関東大震災による朝鮮人の虐殺について学びました。関東大震災が起きた後、デマなどによって朝鮮の人が虐殺されたと聞いてびっくりしたし可哀想だと思った。殺した人もおそらくデマを聞いたりして自分の命が危険だから殺すんだろうし、上の人からの命令の場合もあるけどやっぱりあってはならないと思った。死者が出るような悲しい事件が起きてしまってお互いに良い印象を持たない人もいるけど少しでも多くの人々が断片的な事実だけを学ばずにそれに至る過程まで学んでほしいと思った。今回の日韓交流に参加させてもらってたくさんの学びがあったし、自分も韓国の人は日本人のことが嫌いだと思っていたから、あのように関わることでできてすごい嬉しかったし良い経験になりました。来年度の8月に韓国に行けるといいなと思います。



2日目午後まで参加できた生徒は2人。濃く深い2日間でしたね！